

防災教育と 学生ボランティア支援セミナー

学生支援を推進する上で、災害という危機に際し、いかに、被害を減じるかという防災教育、また起きた被害に対しての援助等を担うボランティア活動の支援は、地域の中で教育活動を実践する大学としての課題でもあるのではないかと考えられます。

ボランティア活動支援と防災教育という2つの視点を取上げることにより、学生の人的成長支援という観点も含め各大学等の学生支援の充実に資するために、本セミナーを開催します。

期 日 平成23年12月22日(木曜日)

場 所 学術総合センター 一橋記念講堂

東京都千代田区一ツ橋2-1-2

参加対象者 国公立大学・短期大学・高等専門学校^の教職員

※参加費は無料です。

プログラム

10:30～10:50開会式

10:50～12:40講演①「想定を超える災害にどう備えるか～命を守る主体的姿勢を与えた釜石市津波防災教育に学ぶ～」

群馬大学大学院 教授 片田 敏孝 氏

12:40～13:50昼食・休憩

13:50～14:50講演②「ボランティア活動を支援する教育的意義と展望」

昭和女子大学 コミュニティサービスラーニングセンター長

興梠 寛 氏

15:00～17:00パネルディスカッション「東日本大震災に際しての学生ボランティアの状況」

司会 興梠 寛 氏

パネラー 岩手県立大学 青山学院大学 立命館大学

17:00 閉会

主 催 独立行政法人 日本学生支援機構

協 力 文部科学省

講師紹介

①群馬大学大学院 教授 片田 敏孝 氏

豊橋技術科学大学大学院博士課程修了後、東海総合研究所、岐阜大学工学部等を経て、現在は群馬大学大学院工学研究科教授。平成22年より群馬大学広域首都圏防災センター長に就任。東京大学大学院客員教授などを兼務。釜石市防災危機管理アドバイザーとしても活躍中。

専門は災害社会工学。災害情報や住民避難に関して研究するとともに、釜石市をはじめとする全国各地で防災教育活動を展開。



②昭和女子大学 コミュニティサービスラーニングセンター長 興梠 寛(こうろきひろし) 氏

新聞記者の後、ボランティア活動推進機関でボランティア・市民活動やNGOの調査研究をはじめ、人材育成計画、国際協力事業に携わる。現在は、昭和女子大学人間社会学部特任教授・コミュニティサービスラーニングセンター長として教鞭を執る。日本ボランティア学習協会代表理事、社会福祉法人世田谷ボランティア協会理事長、文部科学省中央教育審議会他各種委員。近著に『希望へのカー地球市民社会の「ボランティア学」』（光生館）。



参加申込

- (1) 申込人数は1校2名まで受け付けます。
- (2) 申込み方法は、各学校に送付しました「参加登録方法について」(別紙) に従って日本学生支援機構ホームページ(<http://www.jasso.go.jp/>)から参加登録画面にログインし、必要事項を入力・送信してご登録ください。
- (3) 申込期間は11月7日10時から12月10日18時までです。

問合先

独立行政法人日本学生支援機構
学生生活部研修事業課 担当:松山
電話03-5520-6172 E-mail:kyoshoku@jasso.go.jp